



新幹線ニュース

関西新幹線サービック労働組合
摂津市鳥飼八町1丁目3-1
発行者 火野宮敦
編集者 教宣部

出向社員がプロパー社員を批判！？

組合員の皆さん、日々の業務大変ご苦労様です。

過日 JS 労のジャストニュースにおいて出向先でお世話になっている会社のプロパー社員を批判するニュースが発行されました。(ジャストニュース No. 59・62・64・67・68)

JS 労は掲示板がなく、目にする組合員は少ないと思いますが、内容は、『M1 等級及び本社社員組合員化』に伴い昇格した火野宮・中山と特別執行委員 2 名を名指しで批判したものです。

火野宮・中山については執行役員として活動を行っており、いくら批判されても構いませんが、あろう事か特別執行委員まで批判の対象としました。

サービック労組組合員はご存知かもしれませんが、サービック労組には分会・事業所毎の役員体制を確立していません。そこを補うために特別執行委員を他のグループ労組と比べ多めに組織しています。また、毎月の執行委員会にも出席しておらず、大きな議題のある事柄について、年 3 回の拡大執行委員会に出席してもらい運動方針の具体的取組への意見、議題への意見・議決を一任しているだけの一般組合員と何ら変わらない立場の者です。

今も掲示している新幹線ニュース第 478 号にある通り、JR 東海で行っていた会社との戦い(JS 労の表現)を出向に出てまでグループ会社と行っているのは、『プロパー社員の為に』を大義名分に掲げているが、実の所自分達のエゴでしかありません。

他労組のやる事や役員の批判、あろうことか組合員まで批判するのが JS 労の運動でしょうか？それが組合員の為になるのか甚だ理解に苦しみます。労働組合は組合員の賃金、雇用、諸手当などの労働条件を上げて行くなど職場の環境改善を行い、働きやすい環境を構築していくため運動をするのが本来の姿であり、そのためには労使協調し会社を繁栄させていく責任があります。JS 労の掲げる『プロパー社員の為に』の運動は、会社や他労組を批判し陥れる事なののでしょうか？

JR 東海の社員としての義務を放棄し、ましてやグループ会社に土足で上がり込み、会社を相手に批判や裁判闘争を行う彼らが、会社の社員としてもしっかりと義務を果たし、組合の特別執行委員としても組合員のために活動をしているプロパー社員を批判できるのでしょうか？

プロパー社員の皆さん、どう思いますか？

彼ら出向社員は JR から給料が支給されていると、皆さん思っているでしょうが、サービック会社が出向負担金として正社員と同等の賃金を負担しています。それはプロパー社員の皆さんが汗水垂らして稼いだお金です。そんなお世話になっている会社のプロパー社員を批判する者らに支払うのであれば、早々にお引き取りいただき、一人でも多くの社員を雇う事や、一人でも多く正社員にする事が我々の会社・組合員の為であると考えますが、組合員の皆さんはどう思われますか？

サービック労組としてプロパー社員や特別執行委員を批判する事は見過ごせません。